

①研究課題名	口唇裂・口蓋裂児出生に関する実態調査
②対象者及び対象期間、研究責任者	
	2019年1月から12月までの1年間に出生し、口唇裂・口蓋裂の診断で当科を初診した患者さん
③概要	
	現在、一般社団法人日本口蓋裂学会では、学術調査委員会（以下、口蓋裂学会）の高木律男委員長（本研究の研究責任者）が中心となり、多施設共同研究として「口唇裂・口蓋裂児出生に関する実態調査」の計画が進められています。これに関して、神奈川県立こども医療センター形成外科（以下、当科）は調査協力機関として調査を行います。
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	この研究の結果情報は少子高齢化が加速している本邦において、最新の口唇裂・口蓋裂児出生の実態把握に寄与し、今後の口蓋裂治療がより現実的で適切な医療サービスと発展する基礎的データとして使用されます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2021年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	得られたデータは調査票に抽出し、最終的には当科と同様に全国の調査協力機関で収集されたデータが口蓋裂学会に集積され、口蓋裂学会学術調査委員会主導で解析および情報発信を予定しています。
⑧利用または提供する情報の項目	病院の診療カルテから抽出できる医療情報（生年月日、裂型、患側、性別、出生時体重、合併症など）。
⑨利用する者の範囲	神奈川県立こども医療センター 形成外科 小林眞司 新潟大学 顎顔面口腔外科 高木律男
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	神奈川県立こども医療センター 形成外科 小林眞司 新潟大学 顎顔面口腔外科 高木律男
⑪お問い合わせ先	所属：神奈川県立こども医療センター 形成外科 氏名：小林眞司 Tel：045-711-2351 E-mail：skobayashi@kcmc.jp 所属：新潟大学 顎顔面口腔外科 氏名：児玉泰光 Tel：070-6512-0488 E-mail：damadama@dent.niigata-u.ac.jp